

港中だより

伊勢市立港中学校 No.13

H30. 10. 19

校長 金森 晃生

全国学力・学習状況調査について

4月17日に全国学力・学習状況調査が実施されました。7月末にその結果が公表されました。今年度は国語A・国語B・数学A・数学B・理科で実施されました。A問題は、基礎的・基本的な知識・技能が身につけているかどうかをみる問題です。B問題は、基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題です。理科については基礎・基本をもとに活用することができるかどうかを一緒にした問題内容になります。その他生徒質問59項目、学校質問81項目があります。

学力調査につきましては国語AB・数学AB・理科ともに残念ながら全国、三重県平均を3～5ポイント下回る結果になりました。その理由の1つに、記述で答えるところも記号で答えるところもどちらにも無解答（間違えたのではなく記入のないもの）の部分がたくさんありました。原因は、途中であきらめてしまうのか、答えがまったくわからないのかはわかりませんが、考えや記号を書くところは自分の考えられる範囲まででもよいので、答えを書いてみる事が大切だと思います。ここまで考えたということを表して欲しいと思います。ただ、どの教科についても領域・単元について全てが全国・三重県平均を下回っているわけではなく、上回る項目も多くあります。以下に港中学校3年生の強み、弱みを表記します。

1. 学力調査について

(1) 国語ABについて

文章を読んで、構成を考える。グラフを読み取りそこから自分の考えを持ったり、述べたりする。様々な場面で、話の展開や登場人物の心情・言動を読み取りながら内容を理解する。こういったことが全体に苦手なようです。じっくり文章を読んで、落ち着いて考え、その場面場面をしっかりと想像（連想）し、自分の意見や考えをまとめる力が必要だと思われます。そのような力をつける1つの方法として、読書を充実させることがあると思います。

しかし、1つ1つの語句の意味や働き、その活用。漢字の読み。このような基本的なことの理解は平均をかなり上回りました。

(2) 数学ABについて

数学については平均を上回る領域が多くありましたが、逆に下回る領域も多く、一人ひとり異なりますが、全体として領域で得意、不得意がはっきり分かれた結果になりました。不得意な領域として以下のものです。

- ①絶対値の意味の理解。数や数式を不等式で表す。
- ②空間図形における直線や平面などの位置関係を理解する。
- ③三角形の合同条件を理解し、必要な辺や角の関係を理解する。
- ④一次関数において式の意味を理解し、式とグラフが関連づいている。
- ⑤資料や表をもとに確率が予測でき、その理由が説明できる。

得意な領域として以下のものです。

- ①負の数を理解する。
- ②見取り図や投影図から、立体図形を理解する。
- ③体積を求める。

(3) 理科について

理科の学力テストは平成24年と27年に行われ、今回は3回目になります。これまで同様、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に出題されており、A Bの区別はありません。理科においても、平均を上回る領域が多くありましたが、逆に下回る領域もあり、一人ひとり異なりますが、全体として領域で得意、不得意がはっきり分かれた結果になりました。不得意な領域として以下のものです。

- ①光の反射についての知識や技能があり、活用できる。
- ②化学変化を原子や分子で説明できる。
- ③グラフを分析し、物質の関係を理解する。

得意な領域として以下のものです。

- ①ガスバーナーの使い方。
- ②刺激や反応など、神経系について理解する。
- ③電流や電圧や抵抗の関係を理解し、電力との関係を理解する。
- ④植物の働きを理解する。

2. 学習状況（生徒質問）・学校調査について

①生徒質問用紙 59項目のうち、港中生の様子を主な強み、弱みに分けて報告します。

○強み（全国の割合に対して港中の生徒の割合が高かったもの）

- ・自分には良いところがある。
 - ・将来の夢や目標を持っている。
 - ・いじめは、どんな理由があってもいけない。
 - ・人の役に立つ人間になりたい。
 - ・毎日ほぼ同じ時間に起き、同じ時間に寝る。
 - ・地域行事に参加する。
 - ・ボランティア活動に参加したことがある。
- } 規範意識
} 自己有用感
— 基本的な生活習慣
} 地域・社会にかかわる
} 活動の状況

○弱み（全国の割合に対して港中の生徒の割合が低かったもの）

- ・家庭学習
計画を立てる。予習、復習をする。
宿題をする。平日、休日の家庭学習の時間確保。
 - ・平日、休日にテレビ・インターネット・ゲームをして過ごす時間が多い。
(割合が高かったのですが、家庭学習や睡眠時間の不足につながっています)
- } これらの項目は全国平均を
} かなり下回っています。

②学校調査

全国の取り組み結果とさほど違いはなく、今後はさらに充実させることが必要です。

3. 今後の取り組みについて

本校では調査の結果を真摯に受け止め、強みを伸ばし、弱みを克服できるよう検討していきます。教科については、国語・数学・理科だけでなく、各教科の授業の充実を中心に指導方法の改善に努めていきたいと思えます。具体的な1例としまして、各時間の最初に目標を示し、終わりにわかったことの確認をこれまで以上に徹底したいと考えます。また、家庭学習の充実を図るため、ある程度の宿題や家庭学習の題材を提供し、家庭での勉強時間の確保と習慣をつけていくことができるようにしたいと思えます。

また、数学については現在2・3年生で少人数による習熟度別の授業を行っています。少しでも少ない人数で、きめ細かく丁寧に理解の定着を図っています。

ご家庭でも家庭学習が定着できるようお子様と話し合ってみてください。

これからも学力と人間形成の両面から、ご家庭や地域のみなさまと連携し、お子様の成長を支援していきたいと思えます。どうかご理解・ご協力・ご支援をお願いいたします。